

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 市民自治 部 まちづくり 室 まちづくり推進 課

1. 基本情報

201

施設名	伊丹市立市民まちづくりプラザ		
施設の設置目的	市民の参画と協働によるまちづくり活動の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	基本目標：市民が主体となったまちづくりの実現 基本方針：参画と協働による市民自治		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 阪神・智頭NPOセンター (団体の住所又は所在地) 伊丹市桑津2丁目3番29号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数	(単位： 人)
	指標の意味	年間の来館者	
	今年度の目標値	13,500	通期の実績値 12,715

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27 (上期)	H27 (通期)
	来館者数 (人)		6,515	12,714	13,424	13,168	13,454	6,505
講座開催回数 (回)		18	76	128	212	110	21	37
講座参加者数 (人)		590	995	2,907	2,083	1,671	312	612

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	7,895	指定管理委託料	7,895
	事業収入（講座料収入等）	0	事業収入（講座料収入等）	0
	合計	7,895	合計	7,895
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	4,906	人件費	4,906
	維持管理経費	2,278	維持管理経費	2,164
	事業等経費	711	事業等経費	746
	自主事業経費	0	自主事業経費	0
合計	7,895	合計	7,816	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	79	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	0	0	0	0	0	-
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	-
	市の支出	13,531	13,898	13,940	14,115	14,047	-
	(内、指定管理委託料)	7,500	7,895	7,895	7,895	7,895	-
実質経費（歳出－歳入）	13,531	13,898	13,940	14,115	14,047	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	余ったチラシ等を古紙回収に出している。	B	仕様書に基づき、適宜団体と担当課で連絡を取りながら、管理事務を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	仕様書に基づき適正に配置している。	B	仕様書に基づき、適切な職員配置を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	避難防災訓練もビル内の訓練には必ず参加している。	B	仕様書に基づき、適切に管理事務を行っている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	親しみやすい雰囲気作りに努めている。	B	仕様書に基づき、適切に管理事務を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	市民力向上を目的とした講座を企画している。	B	仕様書に基づき、適切に事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページにおいて登録団体等の最新情報を更新している。	B	SNSなどを活用し、積極的に情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	仕様書に基づき適正に行っている。	B	仕様書に基づき、適切に管理事務を行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	仕様書の水準を満たし、適切な監理業務を行うとともに、市民活動に資する講座や市政への理解を促す講座など、多彩な事業を展開している。
総合評価 B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年10月1日 ～ 平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用者・職員両者によって親しみやすい空間が出来ている。今後も地域活動スタートのきっかけづくりや団体同士の交流の場、活動支援の機能を維持してもらいたい。	今後も活動報告・相談時には他団体の紹介を、講座開講時には交流の場となるよう努める。情報発信の媒体を増加を検討し、利用者ニーズに即したメールマガジンの配信を決定。内容は団体活動の動画紹介を初めとし、当施設主催講座、関係する市内情報等。平成28年度5月より配信を開始している。
回答者数		
100		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし	